

※この枠内にアイデアをまとめてください。枠内に記載されたことが公開の範囲です。

アイデア作品説明用紙 (整理番号 6200 )

アイデアの名称 襟元の保温も高める 毛布

①アイデアの説明図

アイデアの説明図と符号の説明を  
A4紙に書いて裏面に狭んで  
いいます

②アイデアの「目的」、「しくみ」、「効果」の説明(300字以内)

アイデアの目的しくみ効果の  
説明をA4紙にワープロで  
書いて裏面に狭んでいいます  
宜しくお願ひいたします

個人情報 【住所】 高知県四万十市 駅前町 8番 6号  
【氏名】 江口 初恵  
【TEL】 0890 34 6356

(注) 個人情報は、公開できる範囲で書いてください。

## 特許第690487号

<アイデアの名称> 襟元の保温を高める毛布

<アイデアの説明図>

### 【図面の簡単な説明】

【図1】 玉を通した当て布を毛布に装着した裏平面図。

【図2】 使用状態の裏平面図。

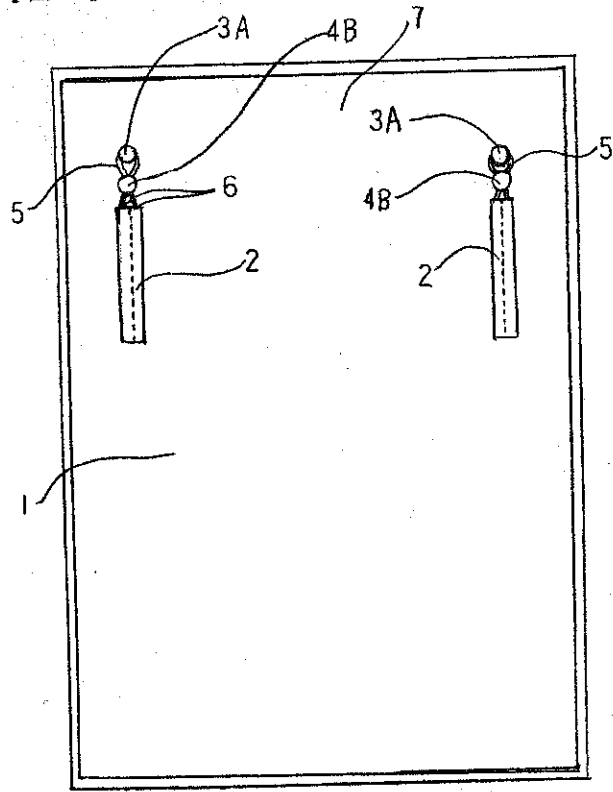
【図3】 使用状態の表平面図。

【図4】 玉を通した紐を当て布に挿入した部分拡大図。

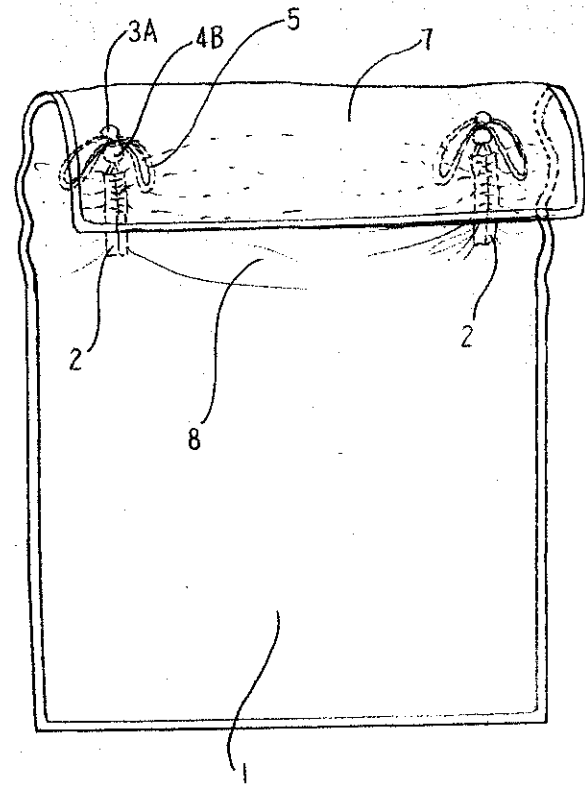
### 【符号の説明】

- 1 毛布
- 2 当て布
- 3 玉A
- 4 玉B
- 5 紐
- 6 二筋の挿入口
- 7 折り返し分
- 8 ドレープ

【図1】

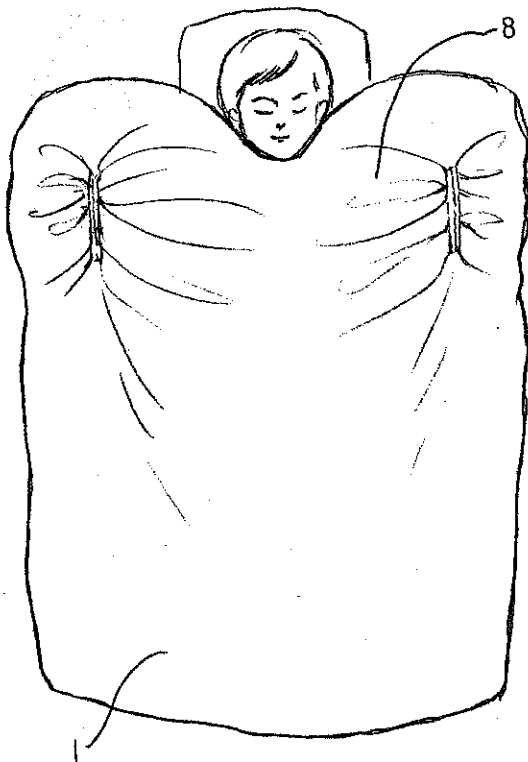


【図2】

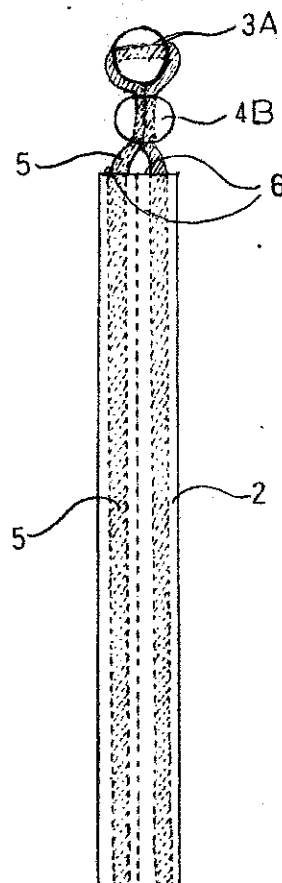


# 【面】

【図3】



【図4】



## 特許第690487号

### ☆襟元の保温を高める毛布

アイデアの <目的> <しくみ> <効果> の説明

#### <目的>

簡単な備品を使い、襟元周りの保温を高め、体に負担の少ない毛布で、備品を解くと、元一枚の毛布になる襟元の保温を高める毛布を目的とした。

#### <しくみ>

- ・毛布の折り返し分を残して、毛布の上面の両側縁部の内側に添って二筋挿入部を持つ当て布を装着し、その挿入部に、玉Aを通した紐の両先を合わせて玉Bに通し、その紐先を分け二筋の挿入口より挿入し、当て布の底に紐を留めつける。(AとBの玉を通した紐を分け、その上に当て布を乗せ縫い、底で紐の端を縫い止めればよい)
- ・玉A玉Bを通した紐の長さは当て布の丈より僅か長めで、玉Aを持ち、玉Bを下げ、長くなった玉Aを通した紐を結ぶと係止され、両当て布が縮まり横にドレープができ、襟元の上面の毛布を軽く折り返して、顎の下から肩周りを包むように伸ばして使用する。
- ・上記の紐を結ぶと紐が係止され、両当て布が縮められ、その部分が硬くなり、ギャザーの立ち上がりでき、両当て布間に立体的なドレープの空間がで

き、人体の厚みに添う高さができるので動きが楽になる。

- ・ 襟元の上面の毛布を軽く折り返して顎の下から肩周りを包むように伸ばして使用すると、首周りや肩周りの部分も包み込まれ、襟元の保温を高める毛布となる。

- ・ 玉 A を引っ張って解き、玉 B を持ち上げると皺は無くなり、元一枚の毛布になる構造になっている。

## <効果>

- ・ 毛布はそのまま使用すれば普通の毛布と変わらず、折り返し分を除いて、毛布の側部に添って二筋の挿入部の当て布を備えた玉付き紐を締めて結ぶと、両当て布が縮まり、人体の厚みに添う高さができるので動きが楽になる。両当て布の間に横にドレープができるので、間に温かい空気溜まりできる。襟元の上面の毛布を軽く折り返して顎の下から肩周りを包むように伸ばして使用すると、温められた空気も逃げない。

- ・ 襟元の折り返し分を顎の下から肩周りを包むように延ばすと、襟元から入る冷気を防ぎマフラーを掛けている状態なり、首周りや肩周りの保温が高められる。

- ・ 体にぴったりとした下着より、少しゆとりのある下着の方が温かく、動きやすいように、毛布の中も温められた空気溜りのあるほうが軽くて温かい。

両当て布を縮めるとその部分が硬くなり、ギャザーの立ち上がりでき、両当て布の間に横にドレープができる。人が寝ると中央の部分が体の厚みに添って、ドレープが延び、体が包み込まれるようになる。ドレープの間には適当な空気溜まりができ、温められた空気が体に温かく動きやすい。

- ・一枚の毛布を掛けただけでは、人体へ添いよりの無いので冷気も入りやすいが、動いてもドレープの中にゆとりがあり、毛布の中に立体的な空間ができるので、体への毛布の添いよりの良い。

- ・病人や老人には、一枚の毛布でも体に重みを感じるものであるが、折り返し分の襟元周りの毛布が、首周りや肩周りを温かく包み、しかも両当て布を縮める事により、横にドレープができ、毛布の中に立体的な空間が少しできるので、体の厚み分の高さに添いやすく体への負担が少ない。縮められた当て布や両側縁部のギャザーは軽い重石となり、温められた空気を逃がさない。毛布中で少しぐらい動いても体への添い寄りはずれにくい。

- ・当て布を縮めて結んだ玉 A は、結んだ時はしっかり係止され、玉を引っ張れば簡単に解く事ができ、玉 B を上に引き上げれば皺もなくなり一枚の毛布となる。干すときも、片付けるために畳む時も、普通の毛布となんら変わる事は無い。以上の大きな効果がある。